放送大学

2022年度
利用の手引

福井学習センター

目　次

所長あいさつ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
学習センターについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
開所・開室時間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
施設の案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
学習センターの利用について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
図書・視聴学習室の利用について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
図書の利用について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
放送教材の郵送貸出しについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
2022年度　教務関係日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2022年度　単位認定試験時間割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
面接授業／学習会・ゼミナール／学習相談・カウンセリングについて・・・ 24
諸手続及び各種証明書の発行 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
放送授業の視聴方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
課外活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
登録科目の覚え書き ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
学習センターの案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

放送大学のシンボルマーク

（デザイン・永井一正氏）

1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育をうける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

2022年度を迎えるにあたって

福井学習センター
所長　小野田信春

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在学生の皆さんは学生生活にも慣れ、新たな気持ちで新年度を迎えておられることと思います。私たち福井学習センターの教職員一同は、皆さんの出発を心からお祝い申し上げます。

放送大学は、国民に多様な高等教育を受ける機会を提供することを目的として、1983年に設置された文部科学省・総務省所管の通信制大学です。様々な年齢、職業の方々が、働きながら大学卒業や各種の資格収得を目指す、或いは、生涯学習として教養を深める等、多様な目的をもって学んでおられます。学部と大学院を合わせた学生数は、全国で8万5千人を数え、これまでの卒業・修了生は12万人を越えるという、国内では最大の規模を誇る大学です。

近年、社会の高度化、グローバル化が急速に進み、その影響は国内の隅々まで浸透していることはご存知の通りですが、このような時代にこそ、我々にとって特に重要なことは、広い視野に基づく総合的な判断力であり、教養学部、大学院文化科学研究科を持つ放送大学の役割は、今後ますます高まるものと思われます。

放送大学福井学習センターは、地域の学生の方々の学習を支援するために1997年、福井市に設置されました。学習センターには、図書・視聴学習室が併設され、学習の場を提供しているとともに、学習センター職員による日常的な学生の履修相談、客員の先生方による学習相談・学習会・ゼミナール、公開講演会等が行われています。また、毎学期、約15科目の教養学部学生を対象とした面接授業(スクーリング)を学習センターで企画・実施しています。面接授業は、大学の授業に直接触れることができ、また、学生同士の交流の場ともなる貴重な機会です。是非受講されることをお薦め致します。

この「利用の手引き」は、このような学習センターの活動を学生の皆さんに良く知っていただき、本学習センターを有効に活用いただくために作成されたものです。放送大学の「学生生活の栞」とともに1年間大切に保管し、必要に応じて参考にして下さい。また、不明な点があれば、学習センターに直接お問い合わせください。

放送授業を通して一人で学ぶことは決して容易ではないと思います。学びを継続しようとするときに、周りからの支援や励まし、仲間どうしの支え合いが大きな力となります。福井学習センターには、現在約500名の学生が在籍しています。本学習センターの様々な企画に参加され、「学びの仲間」との交流を通して充実した学生生活を送っていただければと思います。なお、本学習センターは、年に4回、機関誌「楽学喜」を皆さんにお送りしています。各時点での履修や登録等に関する大切な情報も掲載しますので、必ず目を通してください。

皆さんの学習を支援できることは、学習センター教職員の喜びです。是非、一度、福井学習センターにお立ち寄り下さい。

学習センターについて

福井学習センターは、皆さんの円滑な学生生活を支援するために設けられています。
この「利用の手引」をもとに、積極的に学習センターを利用されることを願っています。

◆ 主な業務内容

（1）放送教材の室内視聴
（2）図書・学術雑誌等の閲覧
（3）単位認定試験の実施（※自宅等でのweb受験が困難な方向け）【要申請】
（4）面接授業の実施
（5）学生の学習上の指導・相談・カウンセリング
（6）学生に関する各種証明書の発行
（7）課外活動・グループ学習等の施設利用
（8）その他、学生の福利厚生

◆ 開所日と開所・開室時間

期　　間	曜日	開所時間	図書・視聴学習室の開室時間
通常期間	火～金	9：30～18：00	9：30～18：00
	土・日	9：00～17：30	9：00～17：30
単位認定試験実施期間中		9：00～19：00	9：00～19：00
閉所日	月曜日 国民の祝日 年末年始（12月29日～1月3日） 学長又は学習センター所長が特に定めた日（単位認定試験最終日の翌日等）		
備考	（1）利用時間は、都合により変更することがあります。 （2）図書・視聴学習室は、資料の整理や機器の点検調整などのため、臨時に閉室することがあります。 （3）図書・視聴学習室の利用は閉室10分前までとします。		

2022年度 開所・開室時間

第1学期	曜　日	開所・開室時間
4.1（金）～7.14（木）	（火）～（金）	9:30～18:00
	（土）、（日）	9:00～17:30
7.15（金）～7.24（日） (※自宅等でのweb受験が困難な方の単位認定試験期間)	（火）～（日）	9:00～19:00
7.26（火）～9.30（金）	（火）～（金）	9:30～18:00
	（土）、（日）	9:00～17:30

第2学期	曜　日	開所・開室時間
10.1（土）～1.15（日）	（火）～（金）	9:30～18:00
	（土）、（日）	9:00～17:30
1.17（火）～1.25（水） (※自宅等でのweb受験が困難な方の単位認定試験期間)	（火）～（日）	9:00～19:00
1.27（金）～3.31（金）	（火）～（金）	9:30～18:00
	（土）、（日）	9:00～17:30

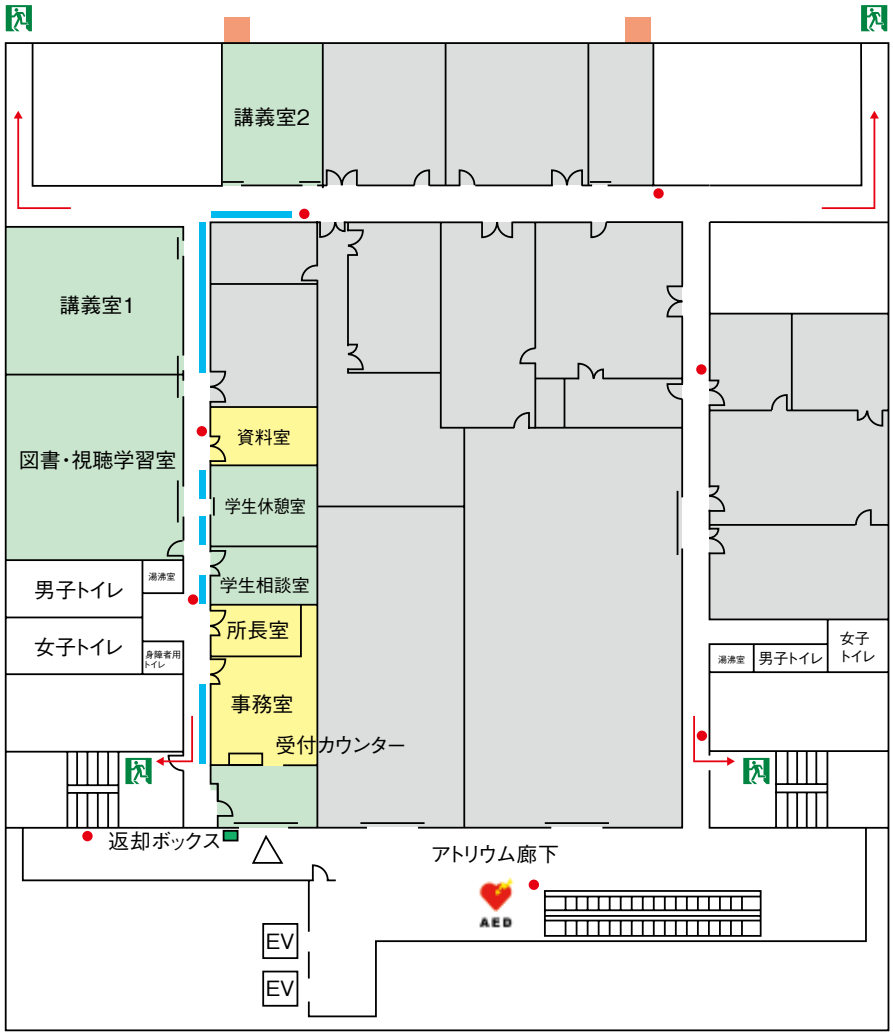
開所・開室時間は、学習センターごとに異なりますので、他の学習センターをご利用の際には注意願います。

※自宅等で単位認定試験のWeb受験が困難な方は、所定の手続きを行い、当学習センターで受験いただくことができます。

施設の案内

◆ 福井学習センター（AOSSA　7階）配置図

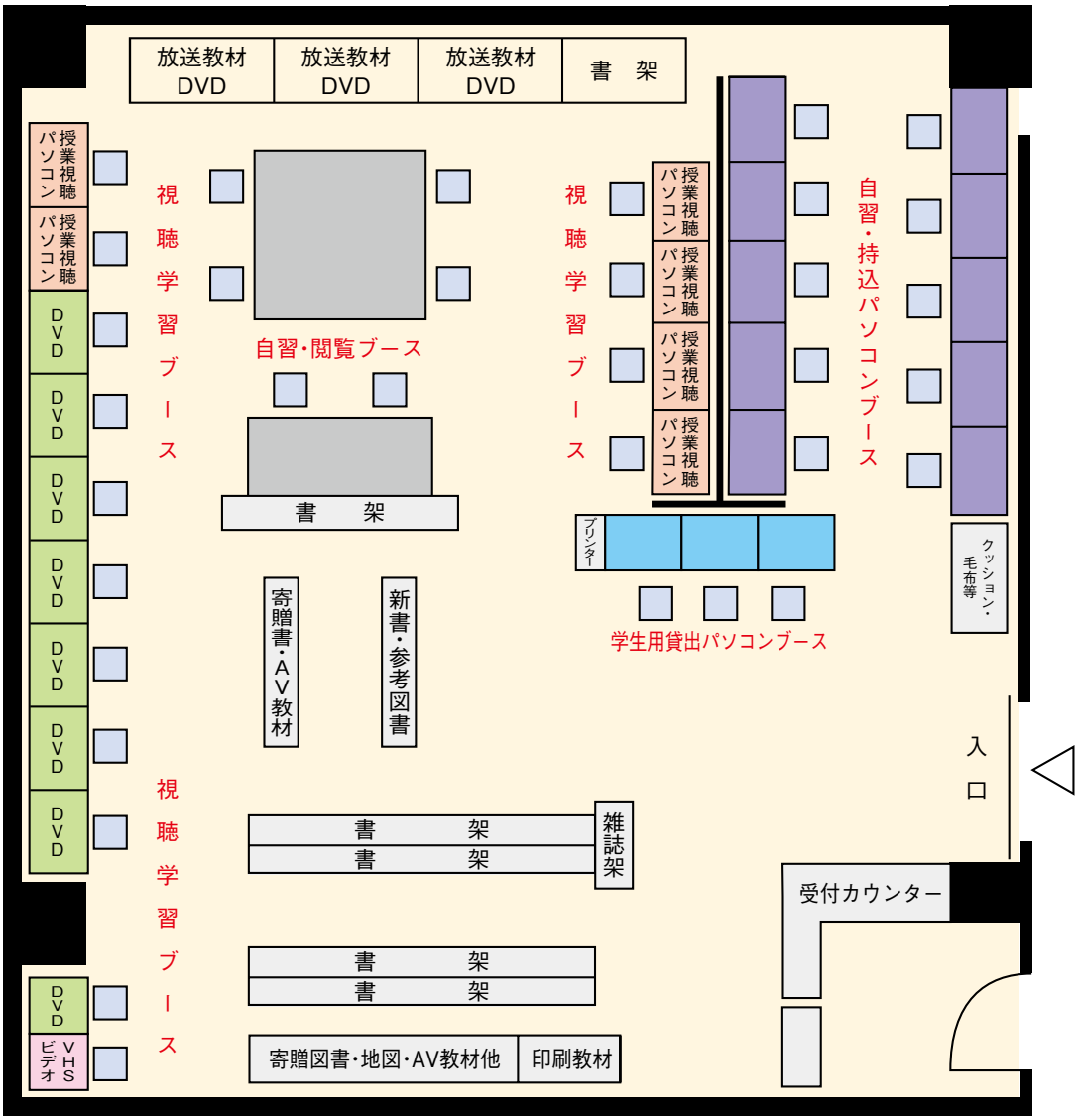
学習センター見取図



学習センター使用区分　他機関の使用区分　共有区分

掲示板　消火器　非常口　避難器具設置室

◆ 図書・視聴学習室の見取図



◎感染対策のため、座席の間隔をあけています。

◆ 所長室

本学習センター所長の執務室です。所長に御用の方は、事務室窓口へ申し出てください。

◆ 学生相談室

客員教員による学習上の相談を行います。
なお、学習上の相談は、事務室窓口に事前に申し出てください。

◆ 事務室

授業の履修に関すること、諸手続、各種証明書の発行等、学生に関する業務を行っています。窓口へお気軽に申し出てください。

◆ 図書・視聴学習室

ここでは図書・印刷教材等の閲覧や放送教材の視聴ができます。
自宅などで、放送授業（ケーブルテレビ・BSデジタル放送）が視聴できなかった場合や繰り返し学習をしたい場合は、個別ブースが設置してありますので、ご利用ください。
飲食はできませんので、学生休憩室をご利用ください。

◆ 講義室1、講義室2

面接授業、単位認定試験、学習会・ゼミナール及びサークル活動等に使用します。（学生のサークル活動に使用する場合は、事前の申込みが必要です。）

◆ 学生休憩室

放送授業（BS放送）の視聴、学習に役立つ情報の提供、共に学んでいる仲間の動静や先輩達の活躍の様子、最近の話題などを取り上げた全国の「学習センターだより」、「同窓会会報」などが備えてありますので自由にご利用ください。また、給茶機（冷・温）も設置しています。
皆さんの休息、懇談等にご利用ください。

◆ 学生用コインロッカー

図書・視聴学習室へ持ち込めない所持品を保管するために、ご利用ください。
貴重品は必ず身につけるなど、自身で管理してください。
ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。（利用する際には、投入口に100円を入れてください。使用後は返却されますので取り忘れにご注意ください。）
また、閉所時に使用中のロッカーは、安全及び衛生上の事由により、職員によって開扉させていただきますのでご了承ください。
ロッカーの鍵を紛失した場合は、実費を弁償していただきます。

学習センターの利用について

◆ 学習センターを利用できる人

（1）本学の学生
（2）その他、本学習センター所長が許可した者

◆ 学習センターの利用方法

図書・視聴学習室及び学生休憩室を利用される場合は、事務室受付にて、入・退室時に、学生証のカードリーダー読込をお願いします。利用時間中は、学生証を事務室受付にてお預かりします。

◆ 掲示板

学生への伝達事項は掲示により行います。学習センターに来所の際は、掲示板を必ず見るようにしてください。

・教務用掲示板
放送授業（学習）・面接授業・単位認定試験に関すること等、学習に関係する通知、連絡を掲示します。
・図書用掲示板
新着図書の紹介や図書・視聴学習室の利用に関する連絡を掲示します。
・学生用掲示板
学生間の情報伝達、交換等に利用できます。
学生が文書、ポスター等の掲示を希望する場合は、事前に掲示物を添えて事務室窓口に申し出て、許可を得てから掲示してください。掲示期間は3週間以内です。

◆ 忘れ物・拾得物

講義室、図書・視聴学習室等での忘れ物、拾得物は、事務室窓口に届け出てください。

◆ 駐車場

（1）学生の駐車場はありませんので、通学には公共交通機関を利用してください。
（2）身体の不自由な方で、自動車で通学せざるを得ない場合は、事前に事務室窓口に申し出てください。

◆ 電話

（1）電話での学生呼出しには原則として応じられません。
（2）電話を利用する場合は、1階アトリウムの公衆電話をご使用ください。
（3）センター内では、携帯電話・スマートフォンはマナーモードにし、使用の際は周囲に迷惑がかからないようにしてください。図書･視聴学習室､講義室内での通話はご遠慮ください。

◆ 喫煙

建物内は、全館禁煙となっています。

◆ 警報発表等非常時における臨時閉所について

当学習センターでは、次のいずれかの場合、直ちに臨時閉所します。
但し、単位認定試験等の試験日、面接授業開講日、及び当学習センターにおいて行事が実施される日は、別途周知します。

1. 福井市に気象等の特別警報または警報（波浪･高潮を除く。）（以下「警報等」という。）が発表され、公共交通機関に重大な影響がおよぶ場合
2. 地震及び停電等不測の事態が発生し、当学習センターの業務を正常に行えない場合

警報等解除に伴う開所の取扱いは次のとおりです。
◎午前7時までに警報等が解除された場合は、通常開所時刻から開所します。
◎午前11時までに警報等が解除された場合は、午後1時から開所します。
◎午前11時までに警報等が解除されない場合は、終日閉所します。

臨時閉所等の措置を行う際は、当学習センターウェブサイトにより案内しますので、ご確認ください。

気象情報と公共交通機関の運行情報に注意してください。

◆ 新型コロナウイルス感染対策について

当学習センターを利用される際は、次の点を遵守してください。

◎来所する前に検温し、体調がすぐれない場合の来所はご遠慮ください。
◎マスクを正しく着用し、手洗い及びアルコール等による手指消毒を励行してください。
◎「3密」の防止を心がけ、距離を保ち、大きな声での会話はご遠慮ください。
◎換気などの感染防止対策にご協力ください。体温調節はご自身の衣服でお願いします。
◎利用後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに当学習センターに報告し、状況確認にご協力ください。

図書・視聴学習室の利用について

図書・視聴学習室には、2018年度までの放送教材（ＤＶＤ、ＣＤ）が備えてあり、個別視聴（学習）ができます。2019年度以降の放送教材はインターネットでの視聴となります。

◆ 図書・視聴学習室への入室

（1）入・退室の際は、事務室受付カウンターのカードリーダーに学生証の読込をしてください。学生証を忘れた場合は、窓口に申し出てください。利用中は事務室窓口で学生証をお預かりします。
（2）学習に必要なものだけ専用の透明バックで持ち込んでください。
（カバン類は、学生休憩室のコインロッカーをご利用ください。）
（3）室内の個別ブースの使用は受付順とし、予約はできません。

◆ 放送教材の室内視聴手順

①視聴する放送教材（CD・DVD）を取り出し、その場所に「室内視聴中（赤色）」の空ケースを入れる。
②個別ブースにて視聴する。
③放送教材と空ケースは元の場所に戻して、視聴した科目名・巻数を記入した「室内視聴カード」を受付カウンターに提出する。

◆ パソコン等の使用について

パソコン等を使用される時は、次の点を遵守してください。

★学習目的以外の使用を禁止します。
★パソコン及びプリンターの設定は変更しないでください。

（1）学生用パソコン（３台）

◎使用時間は、**１日２時間**までとします。
◎受付の「パソコン使用受付簿」を記入してください。
◎放送授業の視聴は、専用パソコンを使用してください。また、ネット配信授業・オンライン授業の視聴はご遠慮ください。

（2）放送授業視聴専用パソコン（６台）

◎受付の「パソコン使用受付簿」を記入してください。
◎受付でヘッドホン ※を受け取り、終了後返却してください。

（3）ＤＶＤ視聴機材

◎受付でヘッドホン ※を受け取り、終了後返却してください。

（4）その他

◎Wi-Fiの利用を希望される方は、「情報セキュリティ研修（学生用）」を受講後、窓口に「無線LAN利用申請書」を提出し、「無線LAN利用許可書」の交付を受けてください。
※感染防止のため、ヘッドホンやイヤホンを持参し、ご自身のものを使用することをお薦めします。

図書の利用について

◆ 図書の閲覧

（1）図書は開架方式を採用しており、書架から図書を自由に取り出して閲覧できます。
（2）図書は日本十進分類法（ＮＤＣ）により分類され、原則として分野別に配架されています。
（3）閲覧終了後は、元の場所に戻してください。

◆ 図書の貸出

（1）貸出しを受ける場合は、貸出しを希望する図書を提示し、受付カウンターで手続きしてください。
（2）貸出冊数は、教養学部学生は4冊以内、卒業研究履修者及び大学院生は6冊以内で、それぞれとも貸出期間は1ヶ月以内です。
（3）希望する図書が福井学習センターにない場合は、本部附属図書館が利用できます。
（4）附属図書館配架図書の検索・貸出予約は、ＯＰＡＣ（オパック）で行ってください。
附属図書館では、電子書籍を数多く提供しています。
①貸出方法
附属図書館ウェブサイトからアクセスできますのでご活用ください。

②貸出期間・貸出数
　　附属図書館ウェブサイトでご確認ください。
③問合先
　　附属図書館カウンター　043-298-4302

◆ 文献複写

図書の複写を希望するときは、「文献複写申込書」に所定の事項を記入し、複写する図書とともに受付カウンターに提出してください。複写料はモノクロ1枚10円、カラー1枚50円です。

なお、文献複写は著作権法によって次のものに限られます。

（1）学習センターにある図書・資料であること。
（2）学習上、研究上必要なものであること。
（3）著作物の一部分であること。
（4）一人につき一部であること。

◆ 寄贈図書コーナーについて

学生休憩室に寄贈図書コーナーを設けています。
学生さんから寄贈された図書を、お互いに利用しあう趣旨で設けました。
自由に借りて、責任を持って返却する手続き不要のコーナーです。寄贈される図書がありましたら、図書・視聴学習室の受付カウンターへお持ちください。

◆ 返却ボックスについて

開所時間以外に返却する場合は、事務室入口前に設置してある返却ボックスを利用してください。
利用できる時間は、AOSSA(アオッサ)が開館している8時30分～22時30分です。
ただし、年末年始期間は、利用できませんので、ご注意ください。

◆ 福井大学及び福井県立大学の図書館の利用

福井学習センターの学生は、上記の図書館を利用することができます。学生証を持参の上、各図書館で所定の手続きをしてください。また、利用する際には、各大学図書館の利用規則を遵守願います。

放送教材（DVD・CD）の郵送貸出しについて

ＢＳ放送が受信できない又はインターネット環境がない等、ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材（ＤＶＤ・ＣＤ）を郵送にて本部からご自宅に取り寄せることができます。

1　貸出しできる放送教材

（1）学期の初めから単位認定試験期間終了まで

・履修している科目

・再試験を受験する科目

・特別講義

（2）単位認定試験期間の翌日からその学期終了まで

・全ての科目

・特別講義

2　貸出し期間・巻数

日本郵便（株）が令和3年10月より土曜日の未配達および令和4年1月より段階的に配達日数を繰り下げることを受け、令和4年4月1日からつぎのとおり貸出し期間が延長されます。

（1）貸出し期間　20日間以内※（←14日間以内）

（2）貸出し巻数　5巻以内

※上記の日数には、本部からの発送日及び返却到着日を含みます。

3　貸出し方法

放送教材貸出申込書を「郵送」又は「ＦＡＸ」してください。「インターネット」による申込みもできます。なお、電話での申込みは、一切受け付けません。本部からの郵送方法は第四種郵便のみとし、送料は往復分とも申込者（学生）負担となります。

４　放送教材の郵送貸出し申込みから返却までのながれ

ａ 申込みに必要なもの

ｉ）放送教材郵送貸出申込書（※申込書は、「学生生活の栞」の巻末の様式をＡ４に拡大コピー又はシステムＷＡＫＡＢＡ「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。）

ii）送料分の切手（※郵便料金は料金表を参考にしてください。）

・郵送申込みの場合：申込書と一緒に切手を貼付してください。

・ＦＡＸ申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。

・インターネット申込みの場合：放送教材返送時に切手を同封してください。

↓

ｂ 本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 から放送教材を発送

※申込受付順に放送教材を確認して発送します。

↓

ｃ 視聴後、本部：学習センター支援室 放送教材郵送貸出担当 へ返送

・郵送された際に同封されていた申込書のコピーも放送教材と一緒に返送してください。

・新たに放送教材貸出しの申込みを行う場合は、新規に貸出申込書を作成し、送料分の切手を貼付してください。

【参考】第四種郵便（通信教育用）料金表　　（ＤＶＤ・ＣＤ共通）

教材の枚数	重さ	第四種郵便料金	速達料金(第四種郵便料金含)合計
１枚	～100g	15 円	275 円
２枚	101ｇ～200ｇ	25 円	285 円
３枚	201ｇ～300ｇ	35 円	295 円
４枚			385 円
５枚	301ｇ～400ｇ	45 円	395 円

※送料は送付物の重さによって料金表と異なる場合があります。

※速達料金合計は、第四種郵便料金を含んでいます。

※速達による郵送を希望する場合には、料金260円（250ｇまで）又は350円（1kgまで）の切手を追加し、郵送又はFAXによる申込みの場合には申込書の「速達希望」の「有」にマルを付けてください。

《注意事項》

・発送作業は平日に行います（土・日・祝休日及び年末年始、特別整理期間は発送しません）。
・貸出しした放送教材の紛失・損傷・内容の改変をした場合や、放送教材の未返却・送料の未払い（料金不足を含む）があった場合は、貸出し停止または禁止となることがありますのでご留意ください。
・貸出し放送教材の複製及び第三者への貸与はできません。
・返送期限日までに必ず郵送で返却してください。
・郵送申込みを第四種郵便で行う場合は、封筒のサイズを「最小（縦14cm・横9cm）～最大（縦60cm・縦と横と厚さの合計90cm）に収め」、「封筒ののりしろ部分を3分の1程度切り取り」、「文部科学省認可通信教育」と表示することで、100g以内15円となります。
・送料分の切手と実際の郵送料に差額が多く発生した場合でも返金はできません。

5　申込み宛先

（1）郵送による申込み

〒261-8586
千葉市美浜区若葉2-11
放送大学　学習センター支援室　放送教材郵送貸出担当

（2）ＦＡＸによる申込み

ＦＡＸ番号　043-298-4510

（3）インターネットによる申込み

https://www.ouj.ac.jp/hp/BorrowDVD_v01/

2022年度 教務関係日程（教養学部）

第　1　学　期

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
授業	1 放送授業期間 14				15 夏期学習期間・再放送等	30
	5 オンライン授業期間			中旬		
	（科目別に７月中旬までに課題締切。その後、8月31日まで閲覧可能）					
	16 面接授業			31		
手続等	上旬 卒業研究履修許可通知	16 面接授業空席発表	16～31（郵送） 9～31（web） 通信指導提出期間	上旬 単位認定試験通知	15～26 単位認定試験	12～18 卒業研究履修申請・新規	19 成績通知発送	25 学位記授与式・入学者の集い
	21 面接授業追加登録期間			17	15 第２学期科目登録	30（郵送） 15 31（web）
		※4月～７月開講の授業：4月21日～科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで	※8月開講の授業：4月21日～7月17日まで			
学生募集			10 2022年度第２学期募集要項配布			13
			10 出願受付期間（第１回）		31	1 （第２回）	13
				上旬 入学料・授業料納入期間		10月上旬

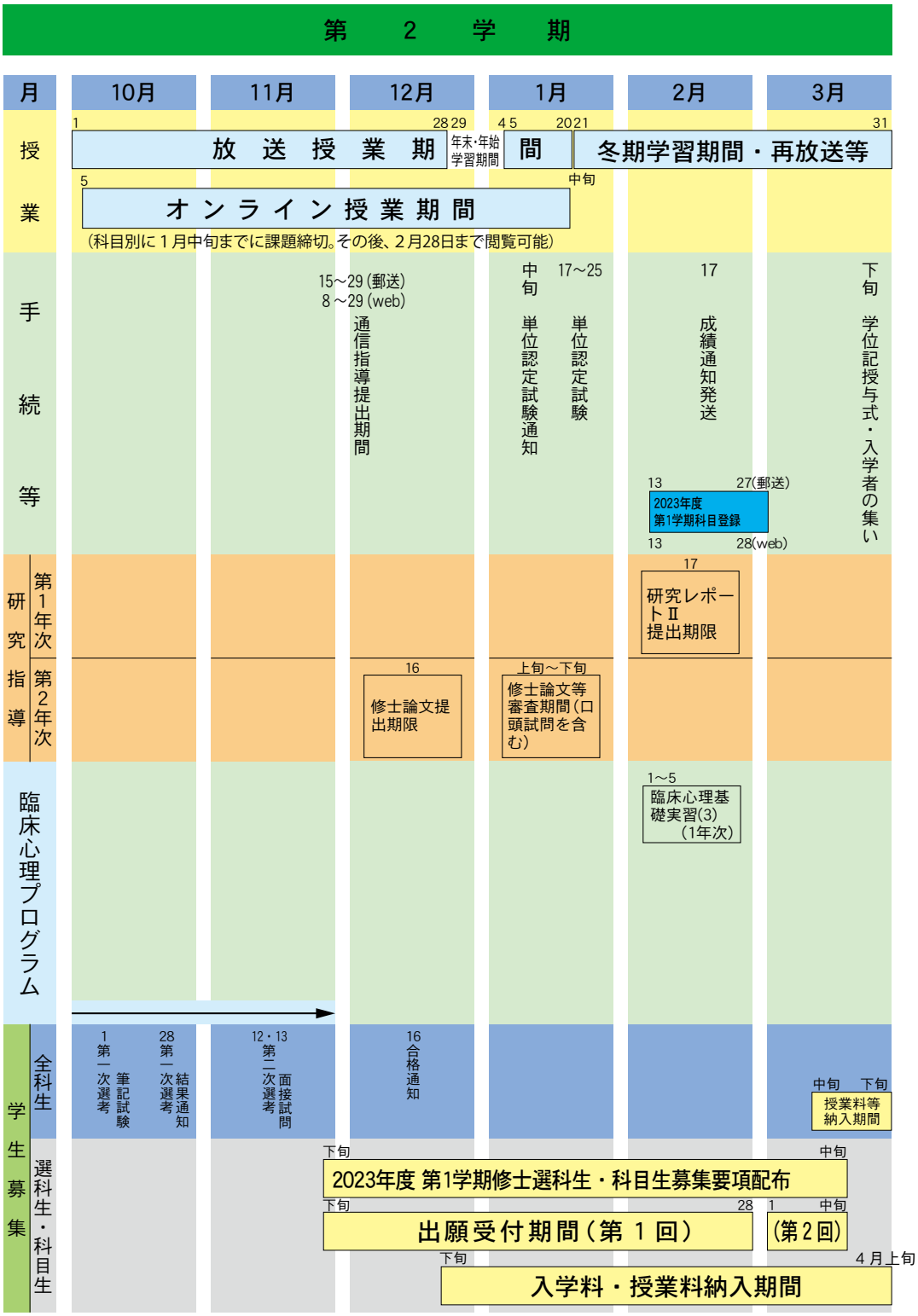
第　2　学　期

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
授業	1 放送授業期 28		29 年末・年始学習期間	4 5 間 20	21 冬期学習期間・再放送等	31
	5 オンライン授業期間 中旬					
	（科目別に１月中旬までに課題締切。その後、２月28日まで閲覧可能）					
	15 面接授業 29					
手続等	15 面接授業空席発表	1 卒業研究報告書提出期限	15～29（郵送） 8～29（web） 通信指導提出期間	中旬 単位認定試験通知 17～25 単位認定試験	17 成績通知発送	下旬 学位記授与式・入学者の集い
	20 面接授業追加登録期間 15				13 2023年度第1学期科目登録 27（郵送） 13 28（web）	
		※10月～１月開講の授業：10月20日～科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで	※２月開講の授業：10月20日～１月15日まで			
学生募集		下旬 2023年度　第1学期募集要項配付 中旬				
		下旬 出願受付期間（第１回） 28			1 （第２回） 中旬	
			下旬 入学料・授業料納入期間 4月上旬			

2022年度 教務関係日程（大学院文化科学研究科）

第　1　学　期

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
授業	1 放送授業期間			14～15 夏期学習期間・再放送等		30
	5 オンライン授業期間（中旬）					
	（科目別に７月中旬までに課題締切。その後、８月31日まで閲覧可能）					
手続等		16～31（郵送） 9～31（web） 通信指導提出期間		上旬 単位認定試験通知 15～26 単位認定試験	19 成績通知発送 15～30（郵送） 15～31（web） 第２学期科目登録	25 学位記授与式・入学者の集い
研究指導 第1年次	2・3 研究指導オリエンテーション（臨床以外）	9 研究指導オリエンテーション（臨床）			18 研究レポートⅠ提出期限	
研究指導 第2年次					18 研究レポートⅢ提出期限	
臨床心理プログラム		10・11 臨床心理基礎実習(1)（1年次） 12～15 臨床心理査定演習(1)（1年次）			5～7 臨床心理基礎実習(2)（1年次） 2～4 臨床心理査定演習(2)（1年次） 25～27 臨床心理実習・集中面接授業（2年次）	
	← 臨床心理実習（2年次　外部実習機関において11月下旬までに90時間実施） →					
学生募集 全科生			10～26 博士・修士全科生募集要項配付			
			10～10 出願資格事前審査申請期間		15～26 出願受付期間	
学生募集 選科生・科目生			10（冊子）～13 2022年度第２学期修士選科生・科目生募集要項配布			
			10（郵送）～31 出願受付期間（第１回）		1～13（第2回）	
				上旬～10月上旬 入学料・授業料納入期間		


第 2 学 期
月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
授業
1
28 29
4 5
20 21
31
放 送 授 業 期
年末・年始学習期間
間
冬期学習期間・再放送等
5
中旬
オンライン授業期間
（科目別に１月中旬までに課題締切。その後、２月28日まで閲覧可能）
手続等
15～29（郵送）
8～29（web）
通信指導提出期間
中旬
単位認定試験通知
17～25
単位認定試験
17
成績通知発送
下旬
学位記授与式・入学者の集い
13
27(郵送)
2023年度
第1学期科目登録
13
28(web)
研究指導
第1年次
17
研究レポートⅡ
提出期限
第2年次
16
修士論文提出期限
上旬～下旬
修士論文等審査期間（口頭試問を含む）
臨床心理プログラム
1～5
臨床心理基礎実習(3)
（1年次）
学生募集
全科生
1
第一次選考
筆記試験
28
第一次選考
結果通知
12・13
第二次選考
面接試問
16
合格通知
中旬
下旬
授業料等納入期間
選科生・科目生
下旬
中旬
2023年度 第1学期修士選科生・科目生募集要項配布
下旬
28
1
中旬
出願受付期間（第 1 回）
（第２回）
下旬
４月上旬
入学料・授業料納入期間

第 1 学期

曜日 / 時限	7月17日（日）	18日（月）	7月19日（火）	7月20日（水）
1時限 9:15 ～ 10:05	フードシステムと日本農業（'18） 哲学・思想を今考える（'18） 国際理解のために（'19） 社会保障の国際動向と日本の課題（'19） 漢文の読み方（'19） 老年看護学（'19） フードシステムと日本農業（'22） 社会教育経営実践論（'22）	休日	環境の可視化（'15） 運動と健康（'18） フランス語 II（'18） ドイツ語 II（'19） 博物館資料保存論（'19） 生活経済学（'20） 運動と健康（'22）	著作権法（'18） 自然言語処理（'19） 教育社会学概論（'19） 経済社会を考える（'19） 臨床心理学概論（'20） 「人新世」時代の文化人類学（'20） 著作権法（'22）
2時限 10:25 ～ 11:15	看護学概説（'16） 化学反応論―分子の変化と機能（'17） 地域コミュニティと教育（'18） グローバル化時代の日本国憲法（'19） 世界文学の古典を読む（'20） 現代教育入門（'21） 看護学概説（'22） 近現代ヨーロッパの歴史（'22）		CGと画像合成の基礎（'16） 物質・材料工学と社会（'17） 健康と社会（'17） 解析入門（'18） 管理会計（'18） 心理職の専門性（'20） 植物の科学（'21） 西洋音楽史（'21） 管理会計（'22）	生物環境の科学（'16） データベース（'17） リスクコミュニケーションの現在（'18） 入門線型代数（'19） コミュニケーション学入門（'19） 錯覚の科学（'20） 学習・言語心理学（'21）
3時限 11:35 ～ 12:25	西洋哲学の起源（'16） 日本美術史の近代とその外部（'18） 生理心理学（'18） 量子化学（'19） 行政学概説（'20） 小児看護学（'16） 韓国朝鮮の歴史と文化（'21） 西洋哲学の根源（'22） 小児看護学（'22） 神経・生理心理学（'22）		家族と高齢社会の法（'17） 技術経営の考え方（'17） 人体の構造と機能（'18） 現代東アジアの政治と社会（'20） 身近なネットワークサービス（'20） 開発経済学：アジアの農村から（'20） 人体の構造と機能（'22）	初級簿記（'16） 交通心理学（'17） 物理の世界（'17） 社会福祉実践の理論と実際（'18） 人間にとって貧困とは何か（'19） 英語で読む大統領演説（'20） 社会福祉実践とは何か（'22） 簿記入門（'22）
4時限 13:15 ～ 14:05	政治学へのいざない（'16） 現代社会の児童生徒指導（'17） 化学結合論―分子の構造と機能（'17） 大学マネジメント論（'20） 母性看護学（'20） 市民自治の知識と実践（'21） 都市から見るヨーロッパ史（'21） 政治学入門（'22）		心理臨床と身体の病（'16） 都市と農山村からみる身近な経済（'18） 現代人文地理学（'18） ヨーロッパ文学の読み方―近代篇（'19） 教育調査の基礎（'20） 災害社会学（'20） 人文地理学からみる世界（'22）	経験論から言語哲学へ（'16） アジア産業論（'17） 情報セキュリティと情報倫理（'18） 都市と地域の社会学（'18） 今日のメンタルヘルス（'19） 現代経済学（'19） 情報セキュリティ概論（'22）
5時限 14:25 ～ 15:15	小学校外国語教育教授基礎論（'17） 現代を生きるための化学（'18） 太陽と太陽系の科学（'18） 日本政治外交史（'19） ユーザ調査法（'20） 成人看護学（'18） 心理臨床における法・倫理・制度（'21） 現代を生きるための化学（'22）		危機の心理学（'17） 初歩からの数学（'18） 生活者のための不動産学への招待（'18） 東南アジアの歴史（'18） データの分析と知識発見（'20） 暮らしに活かす不動産学（'22）	音を追究する（'16） メディア論（'18） 行政法（'18） リハビリテーション（'19） 社会・集団・家族心理学（'20） アルゴリズムとプログラミング（'20） メディア論（'22） 行政法（'22）
6時限 15:35 ～ 16:25	新しい時代の技術者倫理（'15） 文学批評への招待（'18） 問題解決の進め方（'19） 情報化社会と国際ボランティア（'19） 文学・芸術・武道にみる日本文化（'19） ヨーロッパ政治史（'20） 原初から/への思索（'22） 生涯学習支援の理論と実践（'22）		社会福祉への招待（'16） 人口減少社会の構想（'17） 力と運動の物理（'19） 中高年の心理臨床（'20） 社会福祉―新しい地平を拓く（'22）	日本仏教を捉え直す（'18） デジタル情報の処理と認識（'18） 健康への力の探究（'19） 心理学研究法（'20） 刑法と生命（'21）
7時限 16:45 ～ 17:35	地域福祉の現状と課題（'18） 精神看護学（'19） 日本政治思想史（'21） 正多面体と素数（'21） 学校図書館サービス論（'21） 日本近現代史（'21） 地域福祉の課題と展望（'22）		博物館展示論（'16） 乳幼児・児童の心理臨床（'17） 財政と現代の経済社会（'19） 健康長寿のためのスポートロジー（'19） エネルギーと社会（'19） リスク社会の家族変動（'20） AIシステムと人・社会との関係（'20）	コンピュータの動作と管理（'17） 子ども・青年の文化と教育（'17） 食と健康（'18） 数学の歴史（'19） 映像コンテンツの制作技術（'20） 情報化社会におけるメディア教育（'20）
8時限 17:55 ～ 18:45	権力の館を考える（'16） 現代の国際政治（'18） 生活環境と情報認知（'20） 学校と法（'20） 中東の政治（'20） 世界の中の日本外交（'21） 現代の国際政治（'22） 空間と政治（'22） 初歩のロシア語（'22）		歴史と人間（'14） 心理臨床とイメージ（'16） 『方丈記』と『徒然草』（'18） データ構造とプログラミング（'18） 英語で「道」を語る（'21） 日本語リテラシー（'21） 歴史のなかの人間（'22）	基礎看護学（'16） 日本文学の名作を読む（'17） ファイナンス入門（'17） 初歩からの化学（'18） 知覚・認知心理学（'19） はじめての気象学（'21）

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できない

*赤字は2021年度開講予定科目
*青字は2022年度新規開講予定科目

7月21日（木）	22日（金）	7月23日（土）	7月24日（日）	曜日 / 時限
情報学へのとびら（'16） 教育のためのICT活用（'17） 身近な統計（'18） 心理学概論（'18） 博物館経営論（'19） 社会と産業の倫理（'21） 情報学へのとびら（'22） 教育のためのＩＣＴ活用（'22）	休日	自然科学はじめの一歩（'15） 日本の古代中世（'17） 住まいの環境デザイン（'18） 疾病の成立と回復促進（'21） 日本文学と和歌（'21） 自然科学はじめの一歩（'22）	幼児理解の理論及び方法（'15） 初歩のスペイン語（'17） 中国語Ⅱ（'18） 現代の危機と哲学（'18） 肢体不自由児の教育（'20） 道徳教育論（'21）	1時限 9:15 ～ 10:05
ソーシャルシティ（'17） 日常生活のデジタルメディア（'18） レジリエンスの諸相（'18） グローバル化と日本のものづくり（'19） コミュニティがつなぐ安全・安心（'20） 疾病の回復を促進する薬（'21） 日常生活のデジタルメディア（'22） 学校リスク論（'22）		フランス語Ⅰ（'18） 耳から学ぶ英語（'18） 新しい言語学（'18） 博物館概論（'19） 韓国語Ⅰ（'20） 障害者・障害児心理学（'21） グローバル時代の英語（'22）	色と形を探究する（'17） 法学入門（'18） 情報・メディアと法（'18） 思春期・青年期の心理臨床（'19） 金融と社会（'20） 食の安全（'21） 地理空間情報の基礎と活用（'22）	2時限 10:25 ～ 11:15
記号論理学（'14） 看護管理と医療安全（'18） 社会福祉と法（'20） 心理学統計法（'21） 雇用社会と法（'21） 情報デザイン（'21）		数値の処理と数値解析（'14） 初歩からの宇宙の科学（'17） 新時代の組織経営と働き方（'20） 産業・組織心理学（'20） NPO・NGOの世界（'21） 環境と社会（'21） 数値の処理と数値解析（'22）	動物の科学（'15） 環境問題のとらえ方と解決方法（'17） コンピュータと人間の接点（'18） 経営情報学入門（'19） Webのしくみと応用（'19） ライフステージと社会保障（'20） 乳幼児の保育・教育（'21）	3時限 11:35 ～ 12:25
世界文学への招待（'16） 初歩からの物理（'16） 国際経営（'19） 宇宙の誕生と進化（'19） 現代の会計（'20） 認知症と生きる（'21） 量子物理学（'21） 世界文学への招待（'22） 初歩からの物理（'22）		微分方程式（'17） 現代の内部監査（'17） 日本文学における古典と近代（'18） マーケティング（'21） 感情・人格心理学（'21） 現代の内部監査（'22）	現代フランス哲学に学ぶ（'17） 博物館情報・メディア論（'18） 総合人類学としてのヒト学（'18） 高齢期の生活変動と社会的方策（'19） 社会調査の基礎（'19） 教育・学校心理学（'20） 社会学概論（'21）	4時限 13:15 ～ 14:05
初歩のイタリア語（'17） 中国語Ⅰ（'18） ドイツ語Ⅰ（'19） 韓国語Ⅱ（'20） ビートルズ de 英文法（'21）		教育課程の意義及び編成の方法（'15） 在宅看護論（'17） 現代の家庭教育（'18） 知的障害教育総論（'20） 心理的アセスメント（'20）	民法（'17） 考古学（'18） 社会統計学入門（'18） 問題解決の数理（'21） 心理カウンセリング序説（'21） 民法（'22）	5時限 14:25 ～ 15:15
博物館教育論（'16） 感染症と生体防御（'18） 教育の行政・政治・経営（'19） 情報理論とデジタル表現（'19） 日本の近世（'20） 博物館教育論（'22）		発達科学の先人たち（'16） 線型代数学（'17） 経営学概論（'18） 現代日本の政治（'19） 災害看護学・国際看護学（'20） 情報技術が拓く人間理解（'20） 福祉心理学（'21）	現代日本の教師―仕事と役割―（'15） 海からみた産業と日本（'16） 発達心理学概論（'17） 特別支援教育基礎論（'20） 場と時間空間の物理（'20） 日本の教職論（'22） 海からみた産業と日本（'22）	6時限 15:35 ～ 16:25
生物の進化と多様化の科学（'17） コンピュータとソフトウェア（'18） 心理と教育へのいざない（'18） 家族問題と家族支援（'20） エントロピーからはじめる熱力学（'20） 睡眠と健康（'21） サプライチェーン・マネジメント（'21）		日本語アカデミックライティング（'17） 舞台芸術の魅力（'17） 初歩からの生物学（'18） 統計学（'19） 認知行動療法（'20） ダイナミックな地球（'21） 日本語アカデミックライティング（'22）	幼児教育の指導法（'15） 市民生活と裁判（'18） 特別支援教育総論（'19） アメリカの芸術と文化（'19） 中国と東部ユーラシアの歴史（'20） コンピュータ通信概論（'20） 精神疾患とその治療（'20） 幼児教育の指導法（'22） 市民生活と裁判（'22）	7時限 16:45 ～ 17:35
入門微分積分（'16） グローバル経済史（'18） 死生学のフィールド（'18） 生命分子と細胞の科学（'19） 情報社会のユニバーサルデザイン（'19） 入門微分積分（'22）		カリキュラムと学習過程（'16） 戦後日本教育史（'18） 国際法（'19） 計算の科学と手引き（'19） 日本語学入門（'20） 司法・犯罪心理学（'20） 遠隔学習のためのパソコン活用（'21）	西洋芸術の歴史と理論（'16） 精神分析とユング心理学（'17） 地球温暖化と社会イノベーション（'18） 公衆衛生（'19） 暮らしに役立つバイオサイエンス（'21） 子どもの人権をどうまもるのか（'21）	8時限 17:55 ～ 18:45

2022年度 単位認定試験時間割（大学院文化科学研究科）

第1学期

曜日／時限	7月15日（金）	7月16日（土）
1時限 9:15～10:05	現代社会心理学特論（'15） 道徳教育の理念と実践（'20） マルチメディア情報処理（'20）	精神医学特論（'16） 経済政策（'17） 海外の教育改革（'21） 精神医学特論（'22） 経済政策（'22）
2時限 10:25～11:15	生活変動と社会福祉（'18） 情報学の技術（'18） 臨床心理面接特論Ⅱ（'19） 日本文学の研究史（'21）	教育行政と学校経営（'20） 地域産業の発展と主体形成（'20） 司法矯正・犯罪心理学特論（'20）
3時限 11:35～12:25	音楽・情報・脳（'17） 福祉政策の課題（'18） 現代物理の展望（'19） モダニズムの文学と文化（'21） 福祉政策と人権（'22）	人的資源管理（'18） ヘルスリサーチの方法論（'19） 日本史史料を読む（'21） 人的資源管理（'22）
4時限 13:15～14:05	スポーツ・健康医科学（'19） ソフトウェア工学（'19） 社会的協力論（'20） 臨床心理地域援助特論（'21）	生涯学習の新たな動向と課題（'18） 朝鮮の歴史と社会―近世近代（'20） 健康・スポーツ科学研究（'21） 学校臨床心理学特論（'21） 教育老年学（'22）
5時限 14:25～15:15	計算論（'16） 生活リスクマネジメント（'17） 公共政策（'17） 発達心理学特論（'21） 公共政策（'22）	道を極める―日本人の心の歴史（'16） 心理・教育統計法特論（'21） 数理科学（'21） 日本文化と思想の展開―内と外と（'22）
6時限 15:35～16:25	教育文化の社会学（'17） 現代訴訟法（'17） 臨床心理学研究法特論（'18） 情報デザイン特論（'22）	都市社会構造論（'18） コミュニティヘルスケア研究（'19） カリキュラムの理論と実践（'21） 保健医療心理学特論（'22）
7時限 16:45～17:35	成人発達心理学（'17） 公共哲学（'17） 臨床心理面接特論Ⅰ（'19） 現実と向き合う政治理論（'22）	異言語との出会い（'17） 障害児・障害者心理学特論（'19） 知財制度論（'20） リスク社会における市民参加（'21） 異文化との出会い（'22）
8時限 17:55～18:45	臨床心理学特論（'17） コンピューティング（'19） 成人の発達と学習（'19） 西洋中世史（'21）	教育心理学特論（'18） 美学・芸術学研究（'19） 家族政策研究（'21）

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できない

*赤字は2021年度閉講予定科目
*青字は2022年度新規開講予定科目

第 2 学期（予定）

曜日 / 時限	1月19日（木）	1月20日（金）	1月21日（土）
1時限 9:15 〜 10:05	精神看護学（'19） 日本政治思想史（'21） 正多面体と素数（'21） 学校図書館サービス論（'21） 日本近現代史（'21） 地域福祉の課題と展望（'22）	自然言語処理（'19） 教育社会学概論（'19） 経済社会を考える（'19） 臨床心理学概論（'20） 「人新世」時代の文化人類学（'20） 著作権法（'22）	基礎看護学（'16） 日本文学の名作を読む（'17） ファイナンス入門（'17） 初歩からの化学（'18） 知覚・認知心理学（'19） はじめての気象学（'21）
2時限 10:25 〜 11:15	生活環境と情報認知（'20） 学校と法（'20） 中東の政治（'20） 世界の中の日本外交（'21） 現代の国際政治（'22） 空間と政治（'22） 初歩のロシア語（'22）	『方丈記』と『徒然草』（'18） データ構造とプログラミング（'18） 英語で「道」を語る（'21） 日本語リテラシー（'21） 歴史のなかの人間（'22）	生物の進化と多様化の科学（'17） コンピュータとソフトウェア（'18） 心理と教育へのいざない（'18） 家族問題と家族支援（'20） エントロピーからはじめる熱力学（'20） 睡眠と健康（'21） サプライチェーン・マネジメント（'21）
3時限 11:35 〜 12:25	哲学・思想を今考える（'18） 国際理解のために（'19） 社会保障の国際動向と日本の課題（'19） 漢文の読み方（'19） 老年看護学（'19） フードシステムと日本農業（'22） 社会教育経営実践論（'22）	危機の心理学（'17） 初歩からの数学（'18） 東南アジアの歴史（'18） データの分析と知識発見（'20） 暮らしに活かす不動産学（'22）	健康と社会（'17） 解析入門（'18） 心理職の専門性（'20） 植物の科学（'21） 西洋音楽史（'21） 管理会計（'22）
4時限 13:15 〜 14:05	化学反応論―分子の変化と機能（'17） 地域コミュニティと教育（'18） グローバル化時代の日本国憲法（'19） 世界文学の古典を読む（'20） 現代教育入門（'21） 看護学概説（'22） 近現代ヨーロッパの歴史（'22）	生物環境の科学（'16） データベース（'17） リスクコミュニケーションの現在（'18） 入門線型代数（'19） コミュニケーション学入門（'19） 錯覚の科学（'20） 学習・言語心理学（'21）	身近な統計（'18） 心理学概論（'18） 博物館経営論（'19） 社会と産業の倫理（'21） 情報学へのとびら（'22） 教育のためのICT活用（'22）
5時限 14:25 〜 15:15	日本美術史の近代とその外部（'18） 量子化学（'19） 行政学概説（'20） 韓国朝鮮の歴史と文化（'21） 西洋哲学の根源（'22） 小児看護学（'22） 神経・生理心理学（'22）	心理臨床と身体の病（'16） 都市と農山村からみる身近な経済（'18） ヨーロッパ文学の読み方―近代篇（'19） 教育調査の基礎（'20） 災害社会学（'20） 人文地理学からみる世界（'22）	フランス語Ⅰ（'18） 新しい言語学（'18） 博物館概論（'19） 韓国語Ⅰ（'20） 障害者・障害児心理学（'21） グローバル時代の英語（'22）
6時限 15:35 〜 16:25	現代社会の児童生徒指導（'17） 化学結合論―分子の構造と機能（'17） 大学マネジメント論（'20） 母性看護学（'20） 市民自治の知識と実践（'21） 都市から見るヨーロッパ史（'21） 政治学入門（'22）	交通心理学（'17） 物理の世界（'17） 人間にとって貧困とは何か（'19） 英語で読む大統領演説（'20） 社会福祉実践とは何か（'22） 簿記入門（'22）	記号論理学（'14） 看護管理と医療安全（'18） 社会福祉と法（'20） 心理学統計法（'21） 雇用社会と法（'21） 情報デザイン（'21）
7時限 16:45 〜 17:35	小学校外国語教育教授基礎論（'17） 太陽と太陽系の科学（'18） 日本政治外交史（'19） ユーザ調査法（'20） 成人看護学（'18） 心理臨床における法・倫理・制度（'21） 現代を生きるための化学（'22）	カリキュラムと学習過程（'16） 戦後日本教育史（'18） 国際法（'19） 計算の科学と手引き（'19） 日本語学入門（'20） 司法・犯罪心理学（'20） 遠隔学習のためのパソコン活用（'21）	グローバル経済史（'18） 死生学のフィールド（'18） 生命分子と細胞の科学（'19） 情報社会のユニバーサルデザイン（'19） 入門微分積分（'22）
8時限 17:55 〜 18:45	新しい時代の技術者倫理（'15） 文学批評への招待（'18） 問題解決の進め方（'19） 情報化社会と国際ボランティア（'19） 文学・芸術・武道にみる日本文化（'19） ヨーロッパ政治史（'20） 原初から/への思索（'22） 生涯学習支援の理論と実践（'22）	色と形を探究する（'17） 法学入門（'18） 情報・メディアと法（'18） 思春期・青年期の心理臨床（'19） 金融と社会（'20） 食の安全（'21） 地理空間情報の基礎と活用（'22）	感染症と生体防御（'18） 教育の行政・政治・経営（'19） 情報理論とデジタル表現（'19） 日本の近世（'20） 博物館教育論（'22）

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できない　　*青字は2022年度新規開講予定科目

2022年度 単位認定試験時間割（教養学部）

1月22日 （日）	23日	1月24日 （火）	1月25日 （水）	曜日 時限
ソーシャルシティ（'17） レジリエンスの諸相（'18） グローバル化と日本のものづくり（'19） コミュニティがつなぐ安全・安心（'10） 疾病の回復を促進する薬（'11） 日常生活のデジタルメディア（'11） 学校リスク論（'11）	休 日	動物の科学（'15） 環境問題のとらえ方と解決方法（'17） コンピュータと人間の接点（'18） 経営情報学入門（'19） Webのしくみと応用（'19） ライフステージと社会保障（'20） 乳幼児の保育・教育（'21）	博物館展示論（'16） 乳幼児・児童の心理臨床（'17） 財政と現代の経済社会（'19） 健康長寿のためのスポートロジー（'19） エネルギーと社会（'19） リスク社会の家族変動（'20） AIシステムと人・社会との関係（'20）	1時限 9:15 〜 10:05
コンピュータの動作と管理（'17） 子ども・青年の文化と教育（'17） 食と健康（'18） 数学の歴史（'19） 映像コンテンツの制作技術（'10） 情報化社会におけるメディア教育（'10）		微分方程式（'17） 日本文学における古典と近代（'18） マーケティング（'21） 感情・人格心理学（'21） 現代の内部監査（'22）	家族と高齢社会の法（'17） 技術経営の考え方（'17） 現代東アジアの政治と社会（'20） 身近なネットワークサービス（'20） 開発経済学：アジアの農村から（'20） 人体の構造と機能（'22）	2時限 10:25 〜 11:15
アジア産業論（'17） 都市と地域の社会学（'18） 今日のメンタルヘルス（'19） 現代経済学（'19） 情報セキュリティ概論（'11）		環境の可視化（'15） フランス語Ⅱ（'18） ドイツ語Ⅱ（'19） 博物館資料保存論（'19） 生活経済学（'20） 運動と健康（'22）	幼児理解の理論及び方法（'15） 中国語Ⅱ（'18） 現代の危機と哲学（'18） 肢体不自由児の教育（'20） 道徳教育論（'21）	3時限 11:35 〜 12:25
舞台芸術の魅力（'17） 初歩からの生物学（'18） 統計学（'19） 認知行動療法（'10） ダイナミックな地球（'11） 日本語アカデミックライティング（'11）		発達心理学概論（'17） 特別支援教育基礎論（'20） 場と時間空間の物理（'20） 日本の教職論（'22） 海からみた産業と日本（'22）	中国語Ⅰ（'18） ドイツ語Ⅰ（'19） 韓国語Ⅱ（'20） ビートルズ de 英文法（'21）	4時限 13:15 〜 14:05
初歩からの宇宙の科学（'17） 新時代の組織経営と働き方（'10） 産業・組織心理学（'10） NPO・NGOの世界（'11） 環境と社会（'11） 数値の処理と数値解析（'11）		教育課程の意義及び編成の方法（'15） 在宅看護論（'17） 現代の家庭教育（'18） 知的障害教育総論（'20） 心理的アセスメント（'20）	発達科学の先人たち（'16） 線型代数学（'17） 経営学概論（'18） 現代日本の政治（'19） 災害看護学・国際看護学（'20） 情報技術が拓く人間理解（'20） 福祉心理学（'21）	5時限 14:25 〜 15:15
日本仏教を捉え直す（'18） 健康への力の探究（'19） 心理学研究法（'10） 刑法と生命（'11）		国際経営（'19） 宇宙の誕生と進化（'19） 現代の会計（'20） 認知症と生きる（'21） 量子物理学（'21） 世界文学への招待（'22） 初歩からの物理（'22）	特別支援教育総論（'19） アメリカの芸術と文化（'19） 中国と東部ユーラシアの歴史（'20） コンピュータ通信概論（'20） 精神疾患とその治療（'20） 幼児教育の指導法（'22） 市民生活と裁判（'22）	6時限 15:35 〜 16:25
音を追究する（'16） リハビリテーション（'19） 社会・集団・家族心理学（'10） アルゴリズムとプログラミング（'10） メディア論（'11） 行政法（'11）		考古学（'18） 社会統計学入門（'18） 問題解決の数理（'21） 心理カウンセリング序説（'21） 民法（'22）	現代フランス哲学に学ぶ（'17） 博物館情報・メディア論（'18） 総合人類学としてのヒト学（'18） 高齢期の生活変動と社会的方策（'19） 社会調査の基礎（'19） 教育・学校心理学（'20） 社会学概論（'21）	7時限 16:45 〜 17:35
日本の古代中世（'17） 住まいの環境デザイン（'18） 疾病の成立と回復促進（'11） 日本文学と和歌（'11） 自然科学はじめの一歩（'11）		人口減少社会の構想（'17） 力と運動の物理（'19） 中高年の心理臨床（'20） 社会福祉―新しい地平を拓く（'22）	西洋芸術の歴史と理論（'16） 精神分析とユング心理学（'17） 地球温暖化と社会イノベーション（'18） 公衆衛生（'19） 暮らしに役立つバイオサイエンス（'21） 子どもの人権をどうまもるのか（'21）	8時限 17:55 〜 18:45

第2学期（予定）

曜日 / 時限	1月17日（火）	1月18日（水）
1時限 9:15〜10:05	教育心理学特論（'18） 美学・芸術学研究（'19） 家族政策研究（'21）	臨床心理学特論（'17） コンピューティング（'19） 成人の発達と学習（'19） 西洋中世史（'21）
2時限 10:25〜11:15	海外の教育改革（'21） 精神医学特論（'22） 経済政策（'22）	現代社会心理学特論（'15） 道徳教育の理念と実践（'20） マルチメディア情報処理（'20）
3時限 11:35〜12:25	教育行政と学校経営（'20） 地域産業の発展と主体形成（'20） 司法矯正・犯罪心理学特論（'20）	生活変動と社会福祉（'18） 情報学の技術（'18） 臨床心理面接特論 II（'19） 日本文学の研究史（'21）
4時限 13:15〜14:05	ヘルスリサーチの方法論（'19） 日本史史料を読む（'21） 人的資源管理（'22）	音楽・情報・脳（'17） 現代物理の展望（'19） モダニズムの文学と文化（'21） 福祉政策と人権（'22）
5時限 14:25〜15:15	朝鮮の歴史と社会―近世近代（'20） 健康・スポーツ科学研究（'21） 学校臨床心理学特論（'21） 教育老年学（'22）	スポーツ・健康医科学（'19） ソフトウェア工学（'19） 社会的協力論（'20） 臨床心理地域援助特論（'21）
6時限 15:35〜16:25	心理・教育統計法特論（'21） 数理科学（'21） 日本文化と思想の展開―内と外と（'22）	計算論（'16） 生活リスクマネジメント（'17） 発達心理学特論（'21） 公共政策（'22）
7時限 16:45〜17:35	都市社会構造論（'18） コミュニティヘルスケア研究（'19） カリキュラムの理論と実践（'21） 保健医療心理学特論（'22）	教育文化の社会学（'17） 臨床心理学研究法特論（'18） 情報デザイン特論（'22）
8時限 17:55〜18:45	障害児・障害者心理学特論（'19） 知財制度論（'20） リスク社会における市民参加（'21） 異文化との出会い（'22）	成人発達心理学（'17） 臨床心理面接特論 I（'19） 現実と向き合う政治理論（'22）

※同一コマ内に配置された科目は同時履修できない　　*青字は2022年度新規開講予定科目

面接授業／学習会・ゼミナール／学習相談・カウンセリングについて

◆ 面接授業

面接授業とは、直接教員から指導を受ける授業で、「スクーリング」と呼ばれるものです。教養学部の全学生を対象とし、全科履修生においては20単位以上（オンライン授業でも可。オンライン授業については「学生生活の栞」参照）を修得することが卒業要件となっています。

① 福井学習センターでは、面接授業を各学期13～15科目程度開講しています。いずれも1科目につき原則として90分の授業を7回、45分の授業を1回の計8回、連続する2日間で実施し、試験・レポート等の成績、学習状況等を総合的に判断して成績評価を行い、合格者には1単位を認定します。

② 面接授業の科目登録申請は、自宅に送付される「科目登録申請要項」により本部へ提出するか又はインターネットで登録してください。定員を超える申請があった場合は、抽選による選考を行います。（「学生生活の栞」参照）

※新規入学・継続入学の方は、出願申請時において入学学期の面接授業の登録を行うことはできません。但し、インターネットによる出願のみ登録が可能（期限注意）となっています。

③ 科目登録申請後、定員に欠員が生じた面接授業科目については、その面接授業を開設している学習センターの窓口で追加登録を申請し、受講することができます。（第1学期については、4月21日（木）以降に行われる追加登録で申請してください。第2学期については、後日、学習センター掲示板及び大学ホームページに掲載します。）

また、福井学習センターでは、受講登録できなかった方や一般の方を対象に、面接授業を聴講できる「共修生制度」を実施しています。

なお、福井学習センターでは郵送による申請も受付けていますが、この場合は、来所者優先となります。詳細については、事務室へお問合せください。

④ 授業概要欄に記載されている教科書は、各自購入の上、授業当日、持参してください。

◆ 学習会・ゼミナール

学習会・ゼミナールとは、単位修得の対象科目ではありませんが、客員の先生方の専門分野について学ぶことができるゼミ形式の授業です。

講義の内容については、「学習会・ゼミナール」のパンフレットや機関誌「楽学喜」を見てお申込みください。

◆ 学習相談・カウンセリング

学習相談とは、学習する上で授業内容や卒業研究、修士論文の進め方が分からないなど、学習面でのアドバイスをしていただきます。

相談を希望される方は、相談しようとする事項と日時等を事務室まで連絡してください。

学生生活がより充実するよう客員教員のカウンセラーによる「カウンセリング」で心理面の支援を行っています。

カウンセリングを希望される方は、お気軽に事務室まで連絡してください。

○ 福井学習センター客員教員の紹介 ○

担　当　講　師		専　門　分　野
石井バークマン麻子先生	福井大学名誉教授	特別支援教育・インクルーシブ教育・教師教育
門井　直哉先生	福井大学学術研究院教育・人文社会系部門教授	歴史地理学
岸　　俊行先生	福井大学学術研究院教育・人文社会系部門教授	教育心理学
木村　美幸先生	福井工業高等専門学校一般科目教室(社会)助教	日本近現代史
柴田　正輝先生	福井県立大学恐竜学研究所准教授	古生物学・古脊椎動物・恐竜・地学
湊　　七雄先生	福井大学学術研究院教育・人文社会系部門教授	美術（絵画・版画）
(カウンセラー)栗田　智末先生	福井大学保健管理センター・講師	臨床心理学
(カウンセラー)廣澤　愛子先生	福井大学大学院連合開発研究科准教授	臨床心理学

（名列は五十音順）

諸手続及び各種証明書の発行

在学中に種々の手続き、証明書等が必要になることがあります。これらの手続きに必要な用紙は、「学生生活の栞」の巻末又は事務室に備えてありますので申込んでください。

◆ 学 生 証

学生証は、放送大学学生であることを証明する身分証明書であり、図書・視聴学習室の利用及び単位認定試験の受験等、学習センターを利用する場合に必要です。必ず携行してください。

新規入学・継続入学の方は、「入学許可書」を所属学習センターに提示していただくと学生証が交付されます。在学生の方は、学習センター窓口にて有効期限切れの学生証と交換することで発行します。

学生証の発行には、あらかじめ写真がシステムＷＡＫＡＢＡに登録されていることが条件となります。まだ顔写真の登録手続きを行っていない方は、出願票又は科目登録申請票に添付された写真票で本部学生課に提出していただくか、システムＷＡＫＡＢＡの「学生カルテ」から直接顔写真の登録をお願いします。

また、紛失、汚損等により使用不能となった場合及び氏名等の変更があった場合は、「学生生活の栞」を参照の上、所定の手続きを行ってください。

◆ 諸証明書の発行

「在学証明書」「成績・単位修得証明書」などが必要な場合は、「諸証明書交付願」（「学生生活の栞」巻末に様式有）を事務室窓口に提出してください。証明書発行手数料は、1通につき200円です。

◆ 学生旅客運賃割引証の発行

① 学割証の対象者
全科履修生、修士全科生

② 用途
自宅「最寄り駅」から学習センター又は大学本部へ、次の目的の場合に使用できます。
・単位認定試験、面接授業、図書・視聴学習室の利用、学習相談
・大学主催の行事
・卒業研究の調査・研究、研究指導及び実習

③ 利用要件
・JR……普通回数乗車券（片道200km以内）
普通乗車券（片道100kmを超える場合）

④ 交付申請
所属学習センター窓口のほか、郵送による受付も行います。

＜窓口での申請の場合＞
申請用紙に必要事項を記入の上、学生証を添えてお申込みください。

＜郵送による申請の場合＞
1）送付物　：学割証発行願、返信用封筒（住所、氏名、切手貼付）、その他必要書類（卒業研究等の場合は、指導教員が当該学生に調査・研究等のため旅行することを認めた書類）
2）申請時期：申請内容の確認や郵送に要する期間を考慮し、使用予定日の10日前（閉所日を除く）までに所属学習センターへ郵送してください。

◆ 氏名・住所等の変更

氏名、現住所、本籍地（学校図書館司書教諭講習受講者のみ）及び連絡先の電話番号等に変更があったときは、速やかに「氏名等変更届」又は「住所等変更届」を提出してください。変更手続きが遅れますと、本学からの種々の送付物が正確にお届けできないこととなり、学習に支障が生じます。

また、変更等により他の関連した諸手続きが必要となる場合がありますので、お気を付けください。

なお、システム WAKABAで直接変更可能です。

◆ 学生教育研究災害傷害保険への加入

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、学生教育研究災害傷害保険の制度がありますので、万一の事故に備えて保険に加入されることをお薦めします。

入学後ただちに加入すると加入日の翌日午前0時から起算して、原則として6年間保障の対象となります。

ただし、連続して在学中であることが条件です。

放送授業の視聴方法

放送授業の視聴方法については、以下のことをご参考にしてください。

◆ ＢＳ放送で視聴予定の方

テレビ科目は232ＣＨで、ラジオ科目は531ＣＨです。

※なお、テレビにＢＳチューナーが内蔵されていない場合もございますので、詳しくはお近くの電気店にご相談ください。

◆ ケーブルテレビで視聴予定の方

お住まいの地域のケーブルテレビが放送大学の番組を放送しているか、今後も放送するのかを確認の上、ケーブルテレビにご加入ください。

◆ ひかりTV

● ひかりTVに加入している方

2019年4月から放送が開始され、NTTの光回線で映像を視聴できます。

◆ インターネットラジオ radiko

パソコン等からインターネットラジオ radiko（http://radiko.jp）のサイトから「放送大学」を選局して下さい。

◆ その他の視聴方法

● インターネット環境のある方

テレビ科目とラジオ科目の原則すべてをインターネット配信しています。

なお、配信科目の詳細については、放送大学ウェブサイトでご確認ください。

● 学習センターでの視聴

上記受信メディアを利用できない方は、福井学習センターで視聴することができます。

課外活動

◆ サークル活動

学生同士の研究会、勉強会やスポーツ活動等のために学生団体（サークル）を結成し、お互いに親睦を深めることができます。

現在、4つのサークルが活動していますが、新たにサークルを結成しようとするときは、事務室窓口にご相談ください。

皆さんの積極的な活動を期待しています。

サークル活動の状況は、以下のとおりです。

なお、活動日時については、掲示物・電話等で確認の上、ご参加ください。

サークル名	活　動　内　容	活動日時
英語サークル	講師を囲み、気軽なおしゃべりをして、和やかな雰囲気で活動しています。	土曜日（月1回） 午後1時30分頃～ 3時頃（変動あり）
物理・数学サークル 「α・βクラブ」	α・βクラブは物理・数学に限らず科学的な事柄について勉強するクラブです。誰方でも興味をお持ちの方はぜひご出席ください。他に初心者向けのパソコン相談会（奇数月）も行っています。	毎月第3土曜日 午後3時～５時 （変動あり）
OPEN PRESENTATION CAFÉ	みんなで和気あいあいとプレゼンテーションやおしゃべりをする集まりです。お気軽にご参加ください。	毎月第3土曜日 午後1時～3時 （変動あり）
編集サークル	機関紙「楽学喜」に編集サークルが企画するコーナーがあります。掲載する記事はその都度、サークル員はアイデアを出しながら和気あいあいで活動しています。皆さんの参加をお待ちしています。	不定期

◆ 研修旅行

地域の歴史、文化、産業等について知識、教養を高めること、学生同士やセンター職員との交流を深めることを目的に、毎年1回、研修旅行を実施しています。

積極的に参加してください。

研修旅行の実施状況

平成28年度（9/10）　・京都鉄道博物館・伏見稲荷大社
平成29年度（10/15）・ローザンベリー多和田・彦根城
平成30年度（11/3）　・瑞龍寺・木彫りの里創遊館
令和元年度（10/6）　・京都御所・八坂神社
令和2年度・3年度　　・中止

令和元年度研修旅行　京都御所

お知らせ

◆ 機関誌「楽学喜（らくがき）」

福井学習センターの機関誌は「楽学喜（らくがき）」という名称で、年4回（原則として4月・7月・10月・1月）発行しています。

学習に関することや学習センターの行事について、また、学生や客員教員等の意見など皆さんにお伝えしたいことを掲載していますので、ぜひご覧ください。

第１学期登録科目

◆放送授業

科　目　名	単位認定試験日・時限	科　目　名	単位認定試験日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

◆面接授業

科　目　名	開講日・時限	科　目　名	開講日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

◆オンライン授業

科　目　名	開講日・時限	科　目　名	開講日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

◆同時双方向web授業

科　目　名	開講日・時限	科　目　名	開講日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

第２学期登録科目

◆放送授業

科　目　名	単位認定試験日・時限	科　目　名	単位認定試験日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

◆面接授業

科　目　名	開講日・時限	科　目　名	開講日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

◆オンライン授業

科　目　名	開講日・時限	科　目　名	開講日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

◆同時双方向web授業

科　目　名	開講日・時限	科　目　名	開講日・時限
	／（　）・　限目		／（　）・　限目
	／（　）・　限目		／（　）・　限目

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　学生番号　　－　　－

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

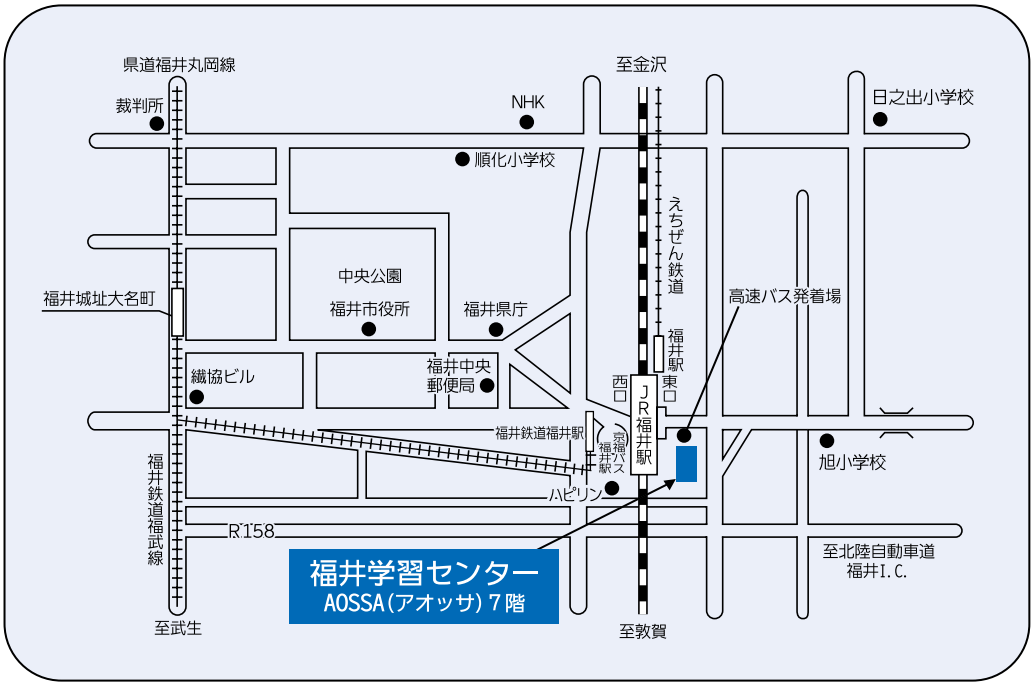
スタッフ

所　　長	小野田　信　春	事 務 長	諏　訪　泰　重
客員教員	石井バークマン麻子	教務主幹	品　川　隆　明
〃	門　井　直　哉	広報主幹	増　永　行　延
〃	岸　　俊　行	事務職員	窪　田　真由美
〃	木　村　美　幸	〃	笹　岡　由美子
〃	柴　田　正　輝	〃	末　本　裕　子
〃	湊　　七　雄		
客員教員（カウンセラー）	栗　田　智　未		
〃	廣　澤　愛　子		

福井学習センターへのアクセス

■ＪＲ福井駅から徒歩１分
■えちぜん鉄道福井駅から徒歩１分
■福井鉄道福武線福井駅から徒歩３分
■福井鉄道福武線福井城址大名町から徒歩10分

【自家用車】
■北陸自動車道　福井インターから15分



所在地　〒910-0858　福井市手寄1丁目4-1
AOSSA（アオッサ）7階
☎0776-22-6361　FAX 0776-22-6431
ホームページアドレス　URL　https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukui/

2022年度福井学習センターカレンダー

2022年

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2023年

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

閉所日　単位認定試験日　図書・視聴学習室閉室（学習センターは開所）

放送大学 福井学習センター